

シネマズライフ

2019年1月18日発行 第156号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『神の発明。悪魔の発明』 神と悪魔の争いらしい。これも神の遊びの一つか(笑)

【最近のこれはまずいぞ!】

『カッターヘッド 真夜中の切断魔』 『カッターヘッド』 『真夜中』 『切断魔』で内容がよくわかるよな(´-`)

映画の風景 日本の風景

※ 北海道函館市 五稜郭 ※



— 北海道・五稜郭

た。『隠し婚の三悪人』という映画があつた。こんな映画だ。

時は戦国時代。出世を夢見て山名家と秋月家の戦いに参戦した太平と又七は、結局夢破れ戦場を彷徨つていた。そんな時、山の中奥に次められている薪に金の延べ棒が隠されている事を知る。大喜びで二人はその薪を持ち帰ろうとするが、突然男が一人現れ二人を一喝する。実はその薪に戦いに敗れた秋月家の軍資金の黄金二百貫を隠してあり、男は秋月家の侍大将の真壁六郎太だ。秋月家は、姫君と隠し婚に隠れており、六郎太の許婚がいる早川家の領に軍資金と共に逃がしたいもの山名家の追及が厳しく逃げ出せぬにいた

のだ。六郎太はそんな時に現れ、欲深い太平と又七に薪を運ばせ、六郎太と共に、早川家の領に逃げる事を思いつく。そこで六郎太は早川家領に向かい、六郎太は早川家領に向かう。最初の関所では危機を乗り越え、木賃宿では雪姫がそこであられた娘を助けようとして、娘は一行から離れ、一方、山名家の探業は厳しく一行は油断しな

多様な映画を撮り続けた黒澤明の痛快娯楽作。危機また危機をどんな方法で逃れるかが見どころの一つだ。五稜郭は明治維新も最後の戦い『箱館戦争』での決着の地。また、新選組副長・土方歳三の最後の地だ。自らの行く末にも最後まで信じていたと思うが、自分の死をも予見していたとも思われ、『滅びの美学』を貫いた男でもあった。

【命】は大事。しかし【命】を賭けた勇気で無くした人達も多い。『命』という片達で『滅びの美学』を貫く事は許してもらいたくも思うのだ。

『隠し婚の三悪人』 1958年日本 監督 脚本 製作:黒澤明 脚本:菊島隆三 小国英雄 橋本忍
出演:三船敏郎 千秋実 藤原釜足 上原美佐 藤田進 志村喬 三好栄子 加藤武 上田吉二郎 藤木悠 土屋嘉男

映画の作品のスリリングな展開は、脚本を書いた黒澤明を含め菊島隆三・小国英雄・橋本忍四人でシーンごとに『危機』を作り、その解決策をそれぞれ提案し完成した。



コラム
流れ星が自由に見える
時代になった件

明けまして
おめでとう
ございます!

今年もよろしく
お願いします

昨年、なんだかんだと愚痴っぽくなってしまった年で、今年こそ、愚痴る事なく明るい日々を送りたいと思っています(´-`)



『一八三三年(乙未)一八六六年(左)のしし座流星群の大出現の様子を描いた絵画

今年18日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、小型ロケット「イプシロン」4号機を打ち上げた。七つの衛星を搭載しすべての衛星は予定軌道に乗せたという。一番話題になっているのが、『流れ星』を作れる衛星(人工流れ星実証衛星「Aurora」)で1cm大の金属球を宇宙に放出して人工的な『流れ星』を作るといふもの。年頭から夢がある話。衛星の寿命は1年。その間に金属球がある間は『流れ星』が作れるそうで、セレブからの問い合わせがあるそう。年頭から庶民にも夢が持てる話で嬉しい話題だ。

☆【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

『寝ずの番』

日本映画専門チャンネル
2005年 日本

監督:マキノ雅彦(津川雅彦) 原作:中島らも
出演:中井貴一 木村佳乃 土屋久美子 真由子 石田太郎
笑福亭鶴瓶 中村勘三郎 木下ほうか 高岡早紀 堺正章

1月22日(火)28:00 ⇒ 1月23日(水)4:00

上方落語界の大御所・笑満亭橋鶴が臨終の床についていた。弟子達も集まっていたところ一言吐いた。

「そそが見たい…」関西では《そそ》とは、女性の《あそこ》を差すもので、それを聞いた一番弟子の橋次は「さすが、師匠!」と今際(いまわ)の際の願いという事で、弟子の1人で新婚の橋太の新妻・茂子に白羽の矢が立った。なんとかかき口説き、茂子は師匠に《あそこ》をお披露目したところ、そのショックの為か3分後に亡くなってしまった。実は、《そそ》ではなく《そと(外)》を見ただけだったのだが後の祭りだった…(´-`)

さて、お通夜の夜。個性的な師匠・橋鶴の前での【寝ずの番】が始まり、弟子達はそれぞれのエピソードを語り始める…

公開当時、監督のマキノ雅彦監督の「絶対テレビで公開できない!」と断言したのには、俳優の活躍の場をテレビに取られたマキノ家の面目躍如だと思った。

『天空の蜂』

日本映画専門チャンネル
2015年 日本

監督:堤幸彦
原作:東野圭吾
出演:江口洋介 本木雅弘 仲間由紀恵 綾野剛 國村隼
柄本明 やべきょうすけ 光石研 佐藤二朗 石橋けい
手塚とおる 石橋蓮司 向井理 竹中直人

1月23日(水)18:30

1995年8月8日。自衛隊に納入されるはずだった世界に誇れる大型ヘリ『ビッグB』が、搭載されている《遠隔操縦機能》を何者かに乗っ取られ、福井県の高速増殖炉「新陽」の上に停止、ホバリングを始める。

『ビッグB』の《遠隔操縦》をしているのは【天空の蜂】と名乗るテロリスト。犯人の要求はすべて原発の停止と破棄。しかし、ヘリの燃料が尽きるのは8時間。その間に事件を解決しなければならず、その上『ビッグB』にはこのヘリの設計士・湯原の子供が乗り込んでおり、湯原は原子力発電所設計士・三島の協力を得る。が、停止と破棄もままならずエンジンが停止するまでの時間が迫っていた…

この映画を見た時、アメリカのようなエンターテインメント映画を日本でも作れるのに…、とつくづく思った次第。ハラハラドキドキの映画日本も、もっと作れるはずだと思うのですが。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメントで感想をお叱りお聞かせください。よろしくお願ひします! m(C)m 貴樹諒音

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認をお願いします。 m(C)m

『ピブリア古書堂の事件手帖』

2019年 日本
監督:三浦有紀子
原作:三上延

出演:岡木華 野村周平
成田涼 夏帆 奥出島大
神野三鈴 瀧向芳 藤田真佐子

大学の卒業して就職もままならない五浦大輔は亡くなった祖母・絹子の本棚から見つけた夏目漱石『それから』のサイン本を、古本屋『ピブリア古書堂』に持ち込む。実は、この本が原因で、大輔は本が読めなくなっていたのだ。

『ピブリア古書堂』の主人・篠川葉子は、ロングヘアと眼鏡という清楚な美女。しかし、本を鑑定し即座にこの本のサインが偽物で絹子が書いたもの、それも書いた事に関して重大な秘密が隠されているという…

現代でも許されない恋だ。一方、葉子が所有する超稀少本・太宰治の『晩年』に関して脅迫を感じており、身の危険を感じていた。男手の少ない『ピブリア古書堂』にバイトとして働いていた大輔は、それとは知らず、古書の販売会場でネット上で古書販売をしている稲垣と親しくしている葉子を見て稲垣に嫉妬してしま



さて、一九六四年。夫と絹子が営む食堂に、小説家を目指す田中嘉雄が訪れ、絹子に魅かれる。やがて、絹子と嘉雄は本を通じて親しくなり、愛し合うようになる。しかし、それは

テレビ版では、葉子がショートヘアで、絹子との間に事件が起こっていた…

うが、過去の嘉雄と絹子の間にも事件が起っていた…

Film Movie Cinema Film Movie

◆シネマズライフ156号◆
✉ 発行人: 貴樹諒音 氷
発行日: 2019年1月18日
✉ cinemaz-life@movie.nifty.jp
✉ 告知ブログ 氷
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



みなさん、
お休もお大事に!
かしこ

【編集後記】
☆もう、今年も半月過ぎました。半月とはいえ、新年早々熊本に地震が起り、口永良部島では噴火。いや、暗くないが、なんでもあり、と思う。しかし、地震の備えをする事ができる訳で、これからは前向きにね。

画像はフォトライブラリーから使用にさせていただきました。m(C)m

